



口元の見えるマスクで手話のコミュニケーションを支援



くっすんも「透明で口のうごきが見えるマスク」をつけてみたよ♪

マスク提供者の四條畷市社会福祉協議会のみなさんの協力で実現しました！

概要説明

四條畷市社会福祉協議会から四條畷市へ、手話での会話に大切な表情や口元を隠さずに見えるオリジナルのマスクを、寄贈していただきました。

【きっかけ】

通訳の際、手話通訳者はフェイスシールドを着用し、場合によってはマスクを外しますが、これは、双方の話を不足なく伝えるために、手話の重要な要素である表情や口形を活用するためです。

ろう者は基本的にマスクを着けたままですが、話の内容によって、通訳者に伝わりづらい時には、一時的にマスクを外す場合もあります。

ある時、診察室でフェイスシールドを着けた通訳者がマスクを外したところ、医師からマスクは外さないようにと言われたことがありました。感染症対策を思えばやむを得ないことですが、医師としっかりコミュニケーションをとりたいろう者と、それを支援する通訳者としてはとても残念なできごとでした。

このことを四條畷市社会福祉協議会に相談したところ、試行錯誤のうえ口元の見えるマスクを作っていただけでした！使用者の声を取り入れ、**マスクシェアリング事業(注1)**を通じて、自助具製作ボランティア「セルフ」さんと、「グループ はな」さんのご協力のもと完成したマスクは、当事者の方にもお渡ししたところ表情がよくわかると感激されました。

【支援内容】寄贈いただいたマスクは、**コミュニケーション支援(注2)**を円滑に行うための手段として、ろう者や登録手話通訳者の方に利用されています。



マスクシェアリング事業 (注1)

手作りマスクを配布する活動に取り組むため、布マスク製作に必要な生地と、マスク製作ボランティアを募集している、四條畷市社会福祉協議会で展開している事業のこと。

コミュニケーション支援 (注2)

聴覚、言語機能、音声機能、視覚その他の障がいのため、意思疎通を図ることに支障がある障がい者の方等に、手話通訳者や要約筆記者の派遣、点訳、代筆、代読、音声訳等の方法により、障がいのある方等と、その他の方等との意思疎通を支援する事業のこと。

問い合わせ

問い合わせ 電話 072-877-2121 〈代〉

障がい福祉課 担当：西岡